

IRB の会議の記録概要

SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 治験審査委員会 記録概要

開催日時 開催場所	2025 年 5 月 13 日（火） 8 時 00 分 ～ 8 時 15 分 太田記念病院 4A 会議室
出席委員名	矢尾板 裕之、根本 尚彦、岩澤 とみ子、伊藤 雅子、金井 敬幸、小林 操 須永 修司、中本 尚宏、宗像 正仁、八木橋 健也
議題及び審議 結果を含む主 な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>■議題 1-①（治験：消化器内科）（治験国内管理人）IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社の依頼による中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、導入療法として ABX464 を 1 日 1 回投与した際の有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第 III 相試験</p> <p>・安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。</p> <p>（審議結果：承認）</p> <p>■議題 1-②（治験：消化器内科）（治験国内管理人）IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社の依頼による中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法として ABX464 25 mg 又は 50 mg を 1 日 1 回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第 III 相試験</p> <p>・安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。</p> <p>（審議結果：承認）</p> <p>■議題 2（治験：循環器内科）ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による心血管イベントのリスクが高い患者を対象とした ziltivekimab の効果を検討する第 3 相試験</p> <p>・安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。</p> <p>（審議結果：承認）</p> <p>■議題 3（治験：循環器内科）株式会社メディコスヒラタの依頼による大腿膝窩動脈病変治療における BP-DPC18 の有効性及び安全性評価試験</p> <p>・治験に関する変更申請書に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。</p> <p>（審議結果：承認）</p>
特記事項	<p>【報告事項】</p> <p>■報告 1（治験：循環器内科）株式会社メディコスヒラタの依頼による大腿膝窩動脈病変治療における BP-DPC18 の有効性及び安全性評価試験に関する進捗報告及び開発の中止等に関する報告（製造販売承認取得）</p> <p>■報告 2（治験：循環器内科）ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による心血管イベントのリスクが高い患者を対象とした ziltivekimab の効果を</p>

	<p>検討する第3相試験に関する進捗報告</p> <p>■報告 3（治験：脳神経内科）アッヴィ合同会社の依頼による日本人の反復性片頭痛患者における片頭痛予防を目的とした、atogepant経口投与の有効性、安全性及び忍容性を評価する、実薬継続投与を伴う第II/III相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験に関する終了報告</p> <p>■報告 4（治験：消化器内科）（治験国内管理人）IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、導入療法としてABX464を1日1回投与した際の有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第III相試験に関する進捗報告</p> <p>■報告 5（治験：消化器内科）（治験国内管理人）IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg又は50 mgを1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第III相試験に関する進捗報告</p> <p>■報告 6（治験：小児科）ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による血液凝固第VIII因子インヒビターを保有する又は保有しない血友病A患者を対象としたMim8の長期安全性及び有効性を検討する非盲検試験に関する進捗報告</p> <p>【その他】</p> <p>次回：2025年6月10日(火) 8時00分～ 当院 4A 会議室</p>
--	--